

わんにゃん広場

犬猫の不妊去勢街頭啓発

今年度も4月3日より、「犬猫の不妊去勢推進街頭啓発キャンペーン」を行いました。

今年度は草津市、守山市、栗東市、野洲市、甲賀市、東近江市、彦根市、長浜市、高島市の狂犬病予防注射会場において、動物愛護推進員・センターのボランティアさんにもご協力いただき、注射会場にいられた犬の飼い主さんにと



高島市新旭町の注射会場

2014年4月23日

No.69

(一財)滋賀県
動物保護管理協会

〒520-3252

滋賀県湖南市
岩根136-98

TEL0748-75-6522
FAX0748-75-3295



甲賀市水口町の注射会場

妊去勢を推進する内容のチラシや犬の繋留義務を啓発するチラシなどを「動物との暮らし三方よし」「飼い犬飼猫がいなくなったらすぐに連絡下さい」とプリントされたクリアファイルにセットして配布しました。

キャンペーン中は、ほとんどの日が晴天に恵まれ、季節の移ろいを感じながら、多くの方に配布することができました。

ご協力下さいました、狂犬病集合注射のスタッフの皆様、愛護推進員・ボランティアの皆様ありがとうございます。

しが動物愛護のつどい

を開催します！

平成26年5月11日(日)に「2014しが動物愛護のつどい」を開催します。

主な内容は次のとおりです。

- 犬・猫のお里帰り交流会
 - モールで動物を作ろうのコーナー
 - ぬりえ・折り紙のコーナー
 - ペーパークラフトのコーナー
 - プラバンで迷子札を作ろうのコーナー
 - シャボン玉飛ばそうのコーナー
 - 滋賀県獣医師会公衆衛生部会のコーナー
 - 日本愛玩動物協会滋賀県支部のコーナー
- 皆様のご来場をお待ちしています！



上が犬の里帰り交流会集合写真、下が手作り迷子札



動物慰霊祭を開催しました

平成26年3月14日滋賀県動物保護管理センターに於いて、人間の身勝手で天寿を全うすることなくこの世を去った動物達の霊を慰め、また、家族の一員として、癒やしや楽しみを与えて寿命を全うした動物達に感謝の意を込めて平成25年度動物慰霊祭を開催し、改めてやむを得ず処分されていく動物達の命の尊さと動物達への感謝の気持ちを認識する機会となりました。

当日は足下の悪い中、ご参加いただきありがとうございました。



知っておきましょう

動物病院でのマナー



犬フイリア症やノミ・ダニ予防、ワクチン接種など、何かと動物病院に行く機会が増える時期になり、病院内も混雑することが多くなります。

動物病院は犬や猫にとって独特な場所であることが多く、普段よりも緊張していたり、他の犬や猫、ウサギなどの小動物の存在に興奮したりすることもあるため飼い主はマナーを守り、無用なトラブルを避け、診察がスムーズに行われるようにしましょう。

【待合室でのマナー】

待合室では感染症、人や他の動物との事故防止のため、他の動物と接触しないようにしましょう。犬の場合は首輪が抜けることがないかチェックし、普段よりもリードは短く持ち、できるだけ犬の注意が飼い主に向くようにすることを心がけましょう。事情が許せばお気に入りのおやつを少しずつ与えながら、飼い主側に注意を引くこともひとつの方法です。もしも、顔なじみの犬と待合室で出会ってもあいさつさせたり、遊ばせたりすることは避けるのがマナーです。

猫の場合は、ペットキャリーなどに入れて待

つようにしましょう。慣れない環境や他の動物の存在により、猫の警戒心が高まっていることが多く、最悪の場合逃走してしまう原因にもなってしまうます。中には動物病院でパニックになったり、極度に興奮したりする犬や猫もいますが、このような場合は、車の中で待たせるようにし、受付は飼い主だけで済ませ、病院スタッフに診察順がくるまで車中で待つ旨を伝えましょう。

【診察室でのマナー】

診察室では、受診する犬猫を拘束することが多くなるため、普段から一定時間拘束されることにも慣らしておく必要があります。犬の場合、首輪を両手で少し強めに持たれることや口周りを触られることなどに慣らす必要があります。どうしても受診時に攻撃的になってしまいうのであれば口輪などを装着するようにし、普段から口輪の装着に慣れさせる必要があります。

猫の場合、大人しく受診できない場合は、あらかじめ洗濯ネットに入れておくか、首から下の部分をタオルでくるんでしまうなどするようにしましょう。また、犬猫とも注射することを想定して、肩甲骨の間の皮膚をつまんで持ち上げる練習をしておくようにしましょう。ワクチン接種などほとんどの注射は肩甲骨の間の皮膚に接種されます。